

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 香月 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査	
○	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

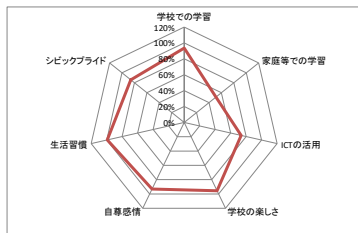
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	平均正答率は全国と比べて2%下回っている。正答数11問以上の層が全国平均と比べても少ない。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくてきた問題	漢字の書き取り問題		
	努力が必要な問題	登場人物の気持ちを読み取る問題		
算数	全体的な傾向や特徴など	平均正答率は全国と比べて3%下回っている。正答数7問以下の層が全国平均と比べても多い。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくてきた問題	小数の計算問題		
	努力が必要な問題	速さなどの割合を扱う問題		

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析	
・	「友達関係に満足しているか」との問いに対して約90%の児童生徒が肯定的に回答している。
・	生活習慣に関する質問項目では、規則正しい生活を送っていると回答した児童の割合が全国平均と同等かそれ以上いる。
・	家庭学習に取り組んでいる児童の割合が全国平均と比べても低いので、今後、児童が家庭学習にしっかりと取り組むことができるように啓発をしていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

算数科を中心に「書く活動」に重点を置いた授業を行うことで、児童一人一人が、自分の考えをもち、それを周りと交流しあえる学習に取り組めるようにしていく。また、ICTの効果的な活用を図り、分かりやすい授業づくりに努めていく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

児童が、家庭での学習を計画的・効果的に取り組むことができるように、①タブレット端末の週末の持ち帰り②ドリルアプリの効果的な活用をする。また、自主学習の啓発や奨励、家庭への呼びかけをしていく。